

美点凝視

第 14 号
H23. 2
狭山台小学校
学校だより

進級準備の二月

一月があつという間に、行ってしまひ、二月になりました。二月は「逃げていく二月」と言われるように、さらに短く感じられるのではないかと思います。

二月には、台小入学準備説明会、小中連絡会、六年生の体験入学、幼稚園児の給食体験と、新入学をスムーズに

行うための行事が多くあるのが特徴です。

これは、「小一プロブレム」とか「中一ギャップ」と言われる新入学先に向まく適応できず、いじめや不登校等の問題を発生しやすい状況を防ぐための取組です。

中学進学に限って言えば、狭山台地区は、小中の連携が進み、これまでに小中の学習の決まりの共有化、台中オプンスクール等、小中のギャップの

2月行事予定

| 日 | 曜 | 行事予定 | 日 | 曜 | 行事予定 |
|----|---|-----------------|----|---|--------------------|
| 1 | 火 | お話朝会、避難訓練 | 17 | 木 | 音楽朝会、クラブ、学校評議員会議 |
| 2 | 水 | お弁当の日 | 18 | 金 | |
| 3 | 木 | 学年朝会、委員会 | 19 | 土 | |
| 4 | 金 | 入学準備説明会 | 20 | 日 | |
| 5 | 土 | | 21 | 月 | 通級指導教室懇談会 |
| 6 | 日 | | 22 | 火 | 体育朝会、6年体験入学 |
| 7 | 月 | | 23 | 水 | 授業参観・懇談会(低学年・けやき) |
| 8 | 火 | 体育朝会 | 24 | 木 | 児童朝会、委員会 |
| 9 | 水 | なかよしタイム | 25 | 金 | 授業参観・懇談会(中学年) |
| 10 | 木 | 心豊かな日、安全点検、クラブ | 26 | 土 | |
| 11 | 金 | 建国記念の日 | 27 | 日 | |
| 12 | 土 | | 28 | 月 | 通学班編制、一斉下校 |
| 13 | 日 | | 1 | 火 | お話朝会、授業参観・懇談会(高学年) |
| 14 | 月 | | 2 | 水 | |
| 15 | 火 | 賞状伝達、小中連絡会 | 3 | 木 | クラブ |
| 16 | 水 | 台中入学準備説明会 15:00 | 4 | 金 | 6年生を送る会 |

解消のための取組がされています。さらに、統廃合により、一中学校区に一小学校となり、人間関係の心配はより少なくなっているかと思われま

す。それでも、入学を控え、期待と同じぐらい不安もあるものです。この不安を取り除くために、入学準備説明会や体験入学があります。

子どもたちにはしっかりと体験し、夢と希望を持って中学校に進んでほしいと思います。

一年生から五年生も学習や生活のまじめをしっかりとし、それぞれ進級してほしいと思います。

そのためにとても大切な二月です。

インフルエンザに注意

インフルエンザが流行しています。本校では、二年三組が二日間学級閉鎖をしました。

幸いその後、インフルエンザによる欠席が爆発的に増えるという状況にはなっていないです。

しかし油断はできません。これからも出欠状況をこまめに観察し、学校医と相談をしながら適切に対応してまいります。

インフルエンザ予防の第一は、ウイルスを体内に入れないことです。人混みや外出先から帰った場合は、丁寧に手洗いとうがいを行ってください。マスクも効果があります。

もしウイルスが体内に入っても、体力があれば、発症が軽く、回復が早くなります。栄養と睡眠を十分にとる事が大切です。

熱が急が上がったら、すぐに医師の診断を受け、その結果を学校にお知らせ

昨年、十二月十八日、おやじの会による「餅つき大会」が行われました。

二百名弱の参加があり、お父さん、お母さんが餅作りに汗を流しました。翌日、筋肉痛だったお父さんもいたのではないのでしょうか。

子どもたちの表情もニコニコでした。「お餅がとてもおいしかった」「また餅つきをしてほしい」と反応も良かったようです。

子どもたちのために大人が汗を流す。とても良い行事だなと感じました。

当日汗を流していただいた皆様、ありがとうございました。

せ下さい。インフルエンザの場合は、出席停止となり、休んでも欠席扱いになりません。

なお、昨年、新型インフルエンザの対応として行われた濃厚接触者の出席停止措置はなくなりましたので、家族や兄弟がインフルエンザと診断されても、本人がインフルエンザでなければ、登校させて下さい。

火遊びは絶対禁止

空気が乾燥し、北風の強い季節となりました。こんな時は、火の用心！

子どもの火遊びが大きな火事の原因となる場合があります。火事になってしまうと大変です。他の人の財産が燃えてしまうだけでなく、最悪の場合は、人命にも関わります。

そのような事態にならないように、御家庭でもしっかりと注意していただければと思います。子どもたちが自由にマッチやライターを使えないよう、十分に管理をして下さい。
